

TDU Agora



総合研究所 研究成果発表会

～社会のニーズに対応する実践的な研究活動を公開～ 1

CONTENTS

今月の顔 安田進 名誉教授・総合研究所客員教授 2	TOPICS 5
キラリ★電大生 河西達彦さん・西垣一馬さん (情報環境学部 情報環境学科) 3	キャンパスよもやま情報 6
TDU LABO パワーエレクトロニクス研究室 (工学部 電気電子工学科) 4	News 7
	Information 11



8月6日開催「小学生ものづくり教室」
(東京千住キャンパス)



岩井将行准教授による特別講演

特集

総合研究所 研究成果発表会

～社会のニーズに対応する実践的な研究活動を公開～

研究推進社会連携センター 研究推進部

8月6日に東京千住キャンパス「100周年ホール」及び1号館1階エントランスにて、総合研究所 研究成果発表会を開催しました。総合研究所では、本学の先生方の研究活動の支援を行っています。その取り組みの1つとして毎年研究費の補助を行っており、そこで得られた研究成果を報告する場として、一般の方にも参加頂ける「研究成果発表会」を設けています。

今年度は特別講演、口頭発表4件、ポスター発表13件、デモンストレーション発表2件を行いました。当日は本学の教職員、学生、卒業生や企業の方等、様々な方に参加頂きました。

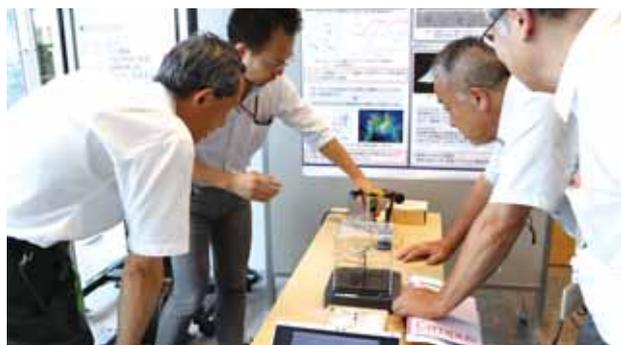
特別講演では、岩井将行准教授(未来科学部・情報メディア学科)に「Fog+s:学習最適化と自動防衛機能を有するフォグコンピューティングによる大規模施設向けIoT基盤の研究」の研究成果について、講演を頂きました。岩井准教授が平成29年度～平成30年度の2年間で取り組んだ本課題は、本研究所が「重点課題」

を募集し、初めて採択した課題です。当日は、多くの研究者や企業と協力しながら、様々なプロジェクトに発展している様子が報告されました。今後も更に展開していくことを期待しています。

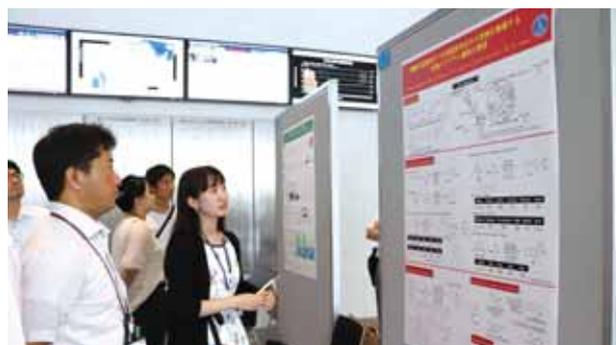
また今年度は、昨年度に引き続き「特許・知財実用化支援」の研究成果をデモンストレーションとして発表しました。名前のお通り、出願した特許の実用化に向けた試作等を支援する試みで、本研究所の使命である研究成果の社会への還元をより進めていくものと考えています。

その他、若手の教員による口頭発表4件を行いました。ポスター発表に先立ちその概要を1分で紹介して頂くショートトークも昨年度に引き続き開催しました。続くポスター発表は学生も参加し、活発に意見交換が行われました。

今後も研究成果発表会が、本学教員による研究で得られた成果や新たな発見を広く社会に還元するための一助になればと思います。



小型はばたきロボットのデモンストレーション発表



ポスター発表に参加する合成有機化学研究室の学生

安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞

～学生諸君の研究の成果～



安田 進 名誉教授・総合研究所客員教授
元 理工学部 建築・都市環境学系教授



チリでの国際会議における渡辺君(当時修士)の発表

一生の方向を決めた 修士課程の研究テーマ

私は高校生の時に映画「戦場にかける橋」を見て、橋を造ろうと考え土木工学を選びました。ところが途中で気が変わって橋の上から地上に降り、卒論のテーマは土木の「土」を選びました。大学院修士課程にはいって、指導教官の先生から地震時の地盤の液状化に関して研究するように言われ、これがその後の私の一生の方向を決めることになりました。

現在では地震時の液状化はよく知られる現象になっていますが、研究者内で認識されるようになったのは1964年の新潟地震の時の被害でした。私はその6年後に液状化の研究を始めたため、大学院の学生の頃は手探りで実験を行っていました。

博士課程修了後にコンサルタントの会社にはいりましたが、まだ耐震設計に液状化は考慮されていなかった時期で、橋や建物、堤防、ライフラインなど多くの構造物を対象に、液状化の予測・対策の技術開発に携わりました。その後大学の教員になってからは、液状化を中心に、地震および豪雨時の地盤災害(崖崩れなども)全般の研究および技術開発を行ってきました。



豪雨で被災した鬼怒川堤防の復旧状況の現場見学

受賞に至った経緯

長年地盤災害の研究・技術開発・実務への適用を行ってきたため、①ボスポラス海峡に海底トンネルを建設するにあたって液状化対策の技術協力を行ったことにより2011年に「国土交通大臣賞産学官連携功労者表彰」、②都市ガスの地震時安全性に関して種々の検討を行ってきたため2012年に「ガス保安功労者経済産業大臣表彰」、③マスコミなどで液状化対策の啓発に努めたため2018年に「科学技術分野の文部科学大臣表彰(理解増進部門)」を受賞してきました。今回、7月2日に受賞した「安全功労者内閣総理大臣表彰」は、②からさらに功績があったとのことで、経済産業省関係からご推薦いただき表彰していただいたものです。

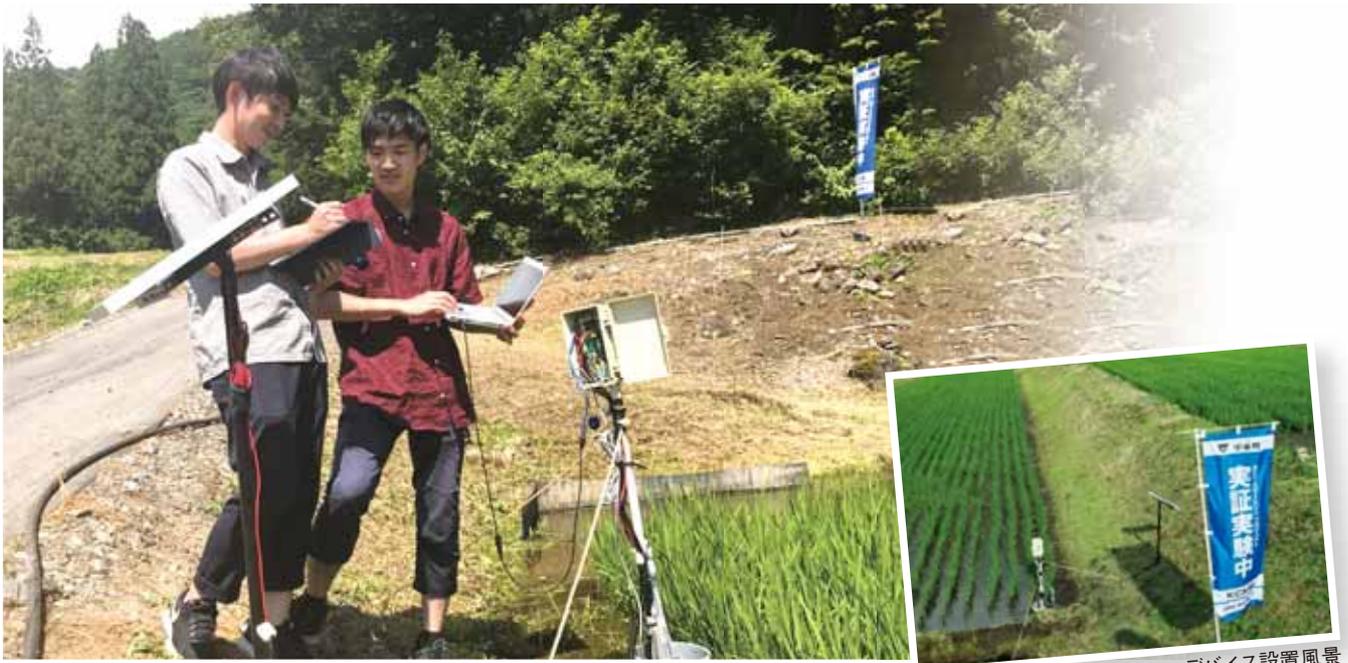
これらの功績は私一人によるものではなく、一緒に研究・技術開発を行ってきた周囲の方々によるものです。特に、研究室の学生諸君が数多くの実験や解析による研究を行ってくれた成果です。電大で24年間勤めた間に、研究室で一緒に研究を行った4年生は255名、大学院修士課程は64名、博士課程は2名で、これらの諸君に大変感謝している次第です。

現在は学生を指導する立場にありませんが一言だけ言わせていただくと、“机上でパソコンだけに頼る研究ではなく、実際の現場を多く見て研究するように”といったことでしょうか。

安田 進 名誉教授 プロフィール (元 理工学部 建築・都市環境学系教授)

Profile

1975年 3月	東京大学大学院 工学系研究科 土木工学専攻 博士課程修了 工学博士
1975年 4月	基礎地盤コンサルタンツ(株)
1986年 10月	九州工業大学 工学部 助教授
1994年 4月	東京電機大学 理工学部 教授
2016年 4月	同 副学長
2018年 3月	同 定年退職
2018年 4月	同 名誉教授 レジリエントスマートシティ研究所 プロジェクト研究教授
2019年 4月	同 総合研究所客員教授



長野県小谷村の水田でデバイス状態の確認(左 河西さん、右 西垣さん)

デバイス設置風景

知的情報空間研究室

「おたりスマートソンプロジェクト」

～データ流通プラットフォームによる地域課題を目指して～

河西達彦・西垣一馬(情報環境学部 情報環境学科 4年)

産官学連携による実証実験

私たち(知的情報空間研究室の河西、西垣2名)は、長野県北安曇郡小谷村、KCCSモバイルエンジニアリング株式会社(以下KCCS)との産官学連携のもと、エリアネットワークを利用した水田監視システムCMS for Paddyの実証実験を行っています。CMS for Paddyは水位を計測するセンサからデータを収集し、Webページからの閲覧、メールへの送信を行うことで、水位の見守りを行うシステムで、忙しい兼業農家の方々の省力化を目的としています。現在、3地区に9台のシステムが設置されており、順調な稼働が確認できています。

アイデアコンテストへの出場

これらの産官学連携につながるきっかけは、2018年12月に開催された京セラコミュニケーションシステム株式会



アイデアコンテスト優秀賞受賞の表彰式

社主催のIoTアイデアコンテストプロトタイプ部門での優秀賞受賞でした。その受賞を受け、実証実験のオファーをいただきましたが、KCCS様からお話をいただいたのは2019年4月、既に水田での水位管理が必要な時期であったため、アイデアからハードウェア、ソフトウェアの実装を急遽行う必要がありました。実際にシステムを設置したのは7月12日、お話をいただいてから3ヶ月後となりました。

自治会でのチームワーク

実証実験の開始までの出来事は、記憶がないほど様々な苦労や努力がありました。その苦難を乗り越えられたのは、2人が千葉ニュータウンキャンパスの自治会執行委員会で知り合い、学内イベントの企画・運営を行う中心的な立場でお互いに信頼する仲であったからだと言えます。東京千住キャンパスへの移転に伴い、所属していた部活や委員会が解散してしまい、手持ち無沙汰の日々において何か挑戦したいという西垣の提案で、アイデアコンテストに出場しました。これまで、仲間と助け合いながら重ねてきた小さな成功経験があったからこそ、アイデアコンテストでの優秀賞の受賞や、実証実験の成功につながったと実感しています。今後もこの経験を生かしながら、私たちは挑戦し続けていきます。

(河西 達彦)

パワーエレクトロニクス研究室 ～次世代の電力変換装置を追求する～

工学部 電気電子工学科
 栢川 重男 教授



パワーエレクトロニクス(パワエレ)は電力をAC⇔DCに変換したり、周波数を変えて、電気を使う機器に合わせ、使いやすい形に変える技術です。そのため、パワエレは家電製品・産業用機器・鉄道・航空機・宇宙船・船舶など、あらゆる分野に使われています。例えば、EVカーはアクセルペダルを踏むと加速、ペダルを離すと回生ブレーキが働き減速します。ペダルを操作することで、インバータを制御してモーターの回転数を変えているのです。

私たちの研究室では、このパワエレを支える要素技術と将来技術の開発を行っています。例えば、手のひらにのる数10kWのDC-DCコンバータには、高周波変圧器が使われます。高周波変圧器の研究は数多く報告されていますが、汎用的な設計法は確立されていません。そこで、私たちは先人の故 竹内寿太郎先生の微増加比例法を展開して、誰もが利用できる高周波変圧器の設計法を開発しています。

物流センターは搬送用のコンベヤーやエレベーターをたくさん使います。これらは荷物がなくとも稼働し

ているのです。年間を通してみれば大きなエネルギーロスを生じます。東京の高層ビルの窓ガラス1枚につき10W程度の太陽光発電を設置すると、年間およそ2万tのCO2を削減可能です。東日本大震災の時、70%もの非常用発電装置が稼働しませんでした。そこで消防法が改正され、定格の1/3以上の負荷で30分以上の稼働試験をすることが義務付けされました。しかし、試験の時に発電した電力は回収されていません。そこで研究室では、このようなエネルギーを積極的に集めて有効に使用するためのエネルギーハーベスティング装置の開発に取り組んでいます。

そのほか、非接触給電装置、インバータの新しい冷却法、EHDポンプ、SiCやGaNを用いた電力変換装置などの研究も行っています。

いずれのテーマも理論を展開して装置を組み、改良を積み上げて、その有効性を実証しなければなりません。そのためには、毎日学生たちと研鑽し努力しながら、実用化に向けて研究を続けたいと思います。



新信濃周波数所の見学



研究室の夏合宿(伊豆)

「電大ガールズ」D-girls

8月5日に、電大ガールズが学園祭(旭祭)に出店する、豆腐入りの揚げドーナツの試食会を行いました。いくつかのレシピを比べ、納得するものができました。旭祭は、11月3・4日に行われます。ぜひお越しください。

また、8月8日には足立区と電大の連携企画イベント「科学・ものづくり体験教室」のフォロー講座、電子工作教室のお手伝いをしました。小学5年生と現在のカメラの仕組みであるカメラオプスキュラを作りました。少し難しいところもあったものの、楽しく作ることができました。次回もお手伝いの機会があれば参加したいです。

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 2年 谷川 愛緒生





ホンダコレクションホールにて記念撮影

2019年度 国際センター秋季学外研修 ～ホンダコレクションホールと 笠間にて「実学尊重」に通じる ワークショップ体験～

国際センター

9月4日、東京千住キャンパスと埼玉鳩山キャンパスの外国人留学生並びに日本人学生ら約50名が参加し、栃木県(ホンダコレクションホール)と茨城県(笠間工芸の丘)にて秋季学外研修を実施しました。

ホンダコレクションホールでは、ホンダの車体開発に携わった本学教員のご縁から特別に少人数ごとのワークショップ形式で様々なエンジンのカットモデルを使用し、吸入・圧縮・燃焼・排気の各工程の仕組み等を実習しました。

また、笠間工芸の丘では、技術者として想いを形にする実習の一環として陶芸を体験しました。

本学の教育・研究理念「実学尊重」に通じるような実際に手を動かす研修での交流により、外国人留学生と日本人学生の親睦もより一層深めることができました。

本センターでは、このような研修を通じて外国人留学生と日本人学生の相互理解・交流の機会等を提供し、技術を通して国際社会で貢献できる人材の育成を目指していきます。



講師の説明に耳を傾ける参加者(笠間工芸の丘)



自動車部集合写真

「Honda エコマイレージチャレンジ2019 もてぎ大会」優勝 ～昨年から大躍進の二輪車チーム～

理工学部自動車部

部長 岡本 大世(理工学部 機械工学系 2年)

理工学部自動車部は、Hondaエコマイレージチャレンジという燃費競技大会に毎年参加しています。この大会に向け車両の開発・製作・運用を行い、実際にものづくりを経験することで技術や知識を身につけることを目的としています。競技では、規定の距離を決められた時間内で走行し、燃料の消費量から燃費を算出します。各チームは車両の形状や軽量化、エンジンの改良や燃料噴射量の適正化、走り方を追求し勝利を目指します。

今年の6月22日に行われたもてぎ大会には、1年生チーム、上級生チーム、二輪車チームの合計3チームで参加しました。上級生チームは、グループⅢ(大学・短大・高専・専門学校クラス)で791.743km/Lを記録し16チーム中4位という結果でした。1年生チームもグループⅢに参加しましたが、エンジントラブルで未出走という結果となりました。また、二輪車チームは二輪車クラスで昨年度よりも約70km/L更新し、170.756km/Lという結果で12チーム中1位を記録しました。次回参加予定の全国大会では、グループⅢと二輪車クラスともに優勝を目指して日々努力していきますので今後の活躍にご期待ください。



昨年6位から奇跡の大躍進

東京千住キャンパス

「小学生ものづくり教室」を開催



8月6日に、ものづくりセンター、株式会社ジェイコム東京足立局、地域連携推進センターが連携し足立区内の小学4年生を対象とした「小学生ものづくり教室」を開催しました。

応募の中から抽選で選ばれた50名の児童が参加し、ものづくりの楽しさや心得についての講義後、知能機械システム研究室所属の学生が先生となり、ミニ四駆を制作しました。最後には、制作したミニ四駆で本格的なレースが行なわれ、大変な盛り上がりを見せました。

(ものづくりセンター 木村)

埼玉鳩山キャンパス

北坂戸団地ふれあい祭でのイベント実施



埼玉鳩山キャンパスでは東武東上線北坂戸駅前で北坂戸にぎわいサロンを運営していますが、8月3・4日にサロンが加入している自治会のお祭りに本学の11名の学生が参加し、カーレースのイベントを実施しました。

サロン内では多くの子供達が学生手作りのラジコンカーを使ってレースに参加しました。学生達は受付・練習・レース進行・景品贈呈・修理等を分担して、参加した子供達やレースを盛り上げました。

(理工学部事務部 飯田)

東京小金井キャンパス 学生団体総選挙 総合グランプリ受賞

高校3年生の石飛友里恵さんの所属する「校外プログラム大全」が第5回学生団体総選挙において、総合グランプリを獲得しました。学生団体総選挙は、社会的価値のある活動をしている学生団体等を対象とした全国的コンテストで、今年度は大学生を含む1,178団体が参加しました。石飛さんたちは、「高校生に日常にない学びと成長を」というテーマのもと、校外プログラム情報を全国の高校生たちに発信する活動をしています。

(高等学校教頭 平川)



最前列左から2人目が石飛さん

校友会だより

大学同窓会「歴代会長会」を開催

大学同窓会では、これまで同窓会長を務められた方々をお招きして、定期的に歴代会長会を開催しています。令和になって初めての歴代会長会は、校友会神奈川県支部が主催する「屋形船納涼幹事会」と合同という形で8月17日に開催されました。「屋形船納涼幹事会」は神奈川県支部が役員・幹事の親睦のために10年以上にわたり毎年開催しているイベントです。当日は、歴代会長10名を含む大学同窓会27名と神奈川県支部30名の総勢57名が参加しました。



屋形船納涼幹事会と合同で開催

受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。

**阿部 豪太さん(4年)**

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

WordPress 用プラグインCategory Specific RSS feed Subscriptionの
クロスサイトリクエストフォージェリ脆弱性を発見**脆弱性番号: CVE-2019-5993, JVN#92510087**

令和元年7月18日

**菊池 裕太さん(4年)**

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

WordPress 用プラグインWordPress Ultra Simple Paypal Shopping Cartの
クロスサイトリクエストフォージェリ脆弱性を発見**脆弱性番号: CVE-2019-5992, JVN#48981892**

令和元年7月16日

**大西 謙吾教授**

理工学部 電子工学系

日本義肢装具学会

飯田賞奨励賞

令和元年7月14日

**矢口 博之准教授**

理工学部 情報システムデザイン学系

日本画像学会

コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞

令和元年7月2日

**安田 進名誉教授**

総合研究所客員教授・元 本学理工学部教授

令和元年 安全功労者内閣総理大臣表彰

令和元年7月1日

第56回 嘉村記念賞

令和元年5月28日

**廣田 悠助教**

未来科学部 情報メディア学科

日本応用数理学会

2018年度 若手優秀講演賞

令和元年6月28日

**清水 大介さん(4年)**

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

WordPress 用プラグインHTML5 Mapsのクロスサイトリクエストフォージェリ脆弱性を発見

脆弱性番号: CVE-2019-5983, JVN#49575131

令和元年6月24日

**中村 大さん(4年)**

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

WordPress 用プラグインCustom CSS Proのクロスサイトリクエストフォージェリ脆弱性を発見

脆弱性番号: CVE-2019-5984, JVN#29933378

令和元年6月24日

**理工学部自動車部**

Honda エコマイレッジチャレンジ2019 第11回もてぎ大会

二輪車クラス 優勝

令和元年6月23日

(受賞日順)

※所属・学年は受賞時

**山崎 旭さん(4年)**

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

WordPress 用プラグイン Personalized WooCommerce Cart Page の
クロスサイトリクエストフォージェリ脆弱性**脆弱性番号: CVE-2019-5979, JVN#88804335**

令和元年6月19日

**石川 正一郎さん(4年)**

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

WordPress 用プラグイン Related YouTube Videos のクロスサイトリクエストフォージェリ脆弱性を発見

脆弱性番号: CVE-2019-5980, JVN#31406910

令和元年6月17日

**岡澤 佳寛さん(4年)**

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

WordPress 用プラグイン Contest Gallery のクロスサイトリクエストフォージェリ脆弱性を発見

脆弱性番号: CVE-2019-5974, JVN#80925867

令和元年6月12日

**渡邊 優さん(修士1年)**

情報環境学研究所 情報環境学専攻(マルチメディアコンピューティング研究室)

情報処理学会 第81回全国大会

大会優秀賞

令和元年6月3日

**石澤 淳**客員教授

連携大学院

西川 正教授

工学部 電子システム工学科

レーザー学会業績賞(論文賞)【解説部門】

令和元年5月31日

(受賞日順)

※所属・学年は受賞時

出版局 新刊のご案内

今回の新刊は、中学生から年配の方までご覧いただける偉人に関する読み物と、
高度情報処理技術者の試験対策本4点をご紹介します。

**世界を変えた 60 人の偉人たち —新しい時代を拓いたテクノロジー—**

東京電機大学編

A5判 152頁 2,160円

社会を大きく変えたテクノロジーの歩みとその影響、開発者の思いやメッセージを、
それぞれの背景や本人のことは、エピソードを含めてイラスト入りで紹介。

<情報処理技術者試験 厳選問題集シリーズ> 東京電機大学編

過去に出題された問題の中から厳選して収録。近年の出題傾向と重点項目を完全網羅。



● ITストラテジスト試験 午前/A5判 344頁 3,672円

● システムアーキテクト試験 午前/A5判 354頁 3,672円

● ネットワークスペシャリスト試験 午前/A5判 336頁 3,672円

● ITサービスマネージャ試験 午前/A5判 340頁 3,672円

建築学専攻の学生による 「甲州市のまちデザインプロジェクト2019」

未来科学部 建築学科

7月31日に山梨県甲州市役所にて、未来科学研究科 建築学専攻の学生20名による「甲州市のまちデザインプロジェクト2019」の発表会が行われました。

このプロジェクトは、修士1年生の課題として甲州市のまちづくりを取り上げ、塩山駅前の再生をテーマにリサーチおよびデザイン提案をまとめたものです。地元の方々、行政関係者の方々へプレゼンテーションの後、同市役所にて8月6日まで模型展示が行われました。

甲州市は豊富な果樹やワイナリー、歴史的な遺構や集落、山々の美しい風景、東京からのアクセスの良い立地条件など、様々な魅力のある『まち』です。一方で甲州市は人口減少が顕著であり、空き屋・空き店舗が多いという問題も抱えています。学生達の提案したデザインプロジェクトが、甲州市の未来を語り合うきっかけになり、新しい甲州市への第一歩となることを願っています。



参加学生集合写真



後援会だより

東京電機大学後援会・第2回常任評議員会開催

7月6日に東京千住キャンパスにて、東京電機大学後援会第2回常任評議員会を開催し、2019年度後援会予算から、学生支援活動補助として7項目(課外活動支援、キャリア形成・就職支援、国際交流支援、研究活動等支援、学生生活支援、こころとからだのサポート24、仲間づくり支援費)、総計15,280,000円の支援を行うことが審議、承認されました。

なお、当日は「後援会イベント参加支援」審査を行い、下記の学生団体・学生への支援が決定しました。



第2回常任評議員会

今年度支援が決定した学生団体・学生

団体名(所属キャンパス)	イベント名
工学部第二部アマチュア無線部(東京千住)	JARL 主催 第62回フィールドデーコンテスト
文化部会グリークラブ(東京千住)	第6回いわき演奏会
自治会水泳部(東京千住)	第92回関東学生選手水泳競技大会 他
TDU Space Project(埼玉鳩山)	国際大会 ARLISS(アーリス)、 第16回 種子島ロケットコンテスト
FCV・EVプロジェクト(東京千住)	ワールド・グリーン・チャレンジ・ソーラーカー・ラリー
自動車部(埼玉鳩山)	Honda エコマイチャレンジ2019 第11回もてぎ大会 Honda エコマイチャレンジ2019 第39回全国大会
硬式野球部(東京千住)	東京新大学野球連盟 2019年秋季四部リーグ戦
蹴球部(埼玉鳩山)	2019年度 第52回埼玉県大学サッカーリーグ戦【後期】
データ科学・機械学習研究室	Sussex-Huawei Locomotion Challenge2019

学生だより

世界の学生と協力してロボットを製作 ～IDCロボットコンテスト大学国際交流大会に参加～

未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻 修士1年
戸田 耕佑



私は7月29日から8月9日までの12日間、アメリカのマサチューセッツ工科大学にて開催された第30回IDCロボットコンテスト大学国際交流大会(IDCロボコン)に参加しました。今年には日本、アメリカ、中国、韓国、シンガポール、タイ、メキシコ、インド、ブラジル、エジプトの10カ国が参加し、くじ引きで結成された5人1組の国際混合チームでロボットを製作し、競技会に挑みました。

英語による意思疎通は難しかったのですが、図や文章を交えて戦略や機構を話し合い、ロボッ

トの製作を行いました。私は、マイコンを用いたロボット制御でチームに貢献することができました。試合結果は、予選リーグを1位で通過したものの決勝トーナメントで負けてしまいました。

しかし、12日間でチームの結束は強まり、英語で熱い議論を交わしたり冗談を言い合ったりできるようになりました。IDCロボコンを通して、自分の実力を試すとともに様々な国の人と友達になることができ、非常に貴重な体験となりました。



チームのメンバーと

新しい時代を拓いた科学・技術 vol.24

アレクサンダー・グラハム・ベル スコットランド ● 1847年～1922年

電話を発明、AT&T社の母体を設立

「偉大な発明や発見は… 小さいものを観察することから生まれる」

聴覚障害者のための教育、学校設立、科学教育にも熱意

©TDU



1875年6月の暑い晩、アメリカ・ボストンのウィリアムズ電気工場の屋根裏部屋でのこと。ベルは受信室にいて、助手のワトソンは送信室で多重電信の実験を行っていました。すると突然、送信室の銅バネの「ブーン」という音が、ベルのレシーバーに響いたのです。驚いたベルはワトソンのところに飛んできて、「君は何をしたんだ？そのまま何も動かすな。ぼくに見せてくれ！」と、叫んだといわれています。1876年3月10日、ベルが人間の声を初めて電流にのせたのは、「ワトソン君、ちょっと来てくれたまえ」という言葉でした。電話の発明は、衝撃と驚異を全世界に与えました。

母と妻は聴覚障害、父親は視話法の考案者だったことから、ベルは聴覚障害者教育に携わり、学校も開校、聴覚機器や音響学の研究も行いました。ヘレン・ケラーに家庭教師としてサリヴァン女史を紹介したのも、彼でした。音波振動を電流に変えて、回路の他の端で再生する研究を完成させ、ろう教育や科学教育、また科学雑誌「Science」の創刊を支援しました。

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

三生を移ろひにけり昼寝覚
早起きの収支を戻す昼寝かな
大輪のあじさい庭を照らす如

陽一(阿部陽一)

知多(絹川博之)

迺子(大園成夫)

Information

「リバーサイドコンサート」開催 総務部(企画広報担当)

今年も、本学と足立区生涯学習センターの地域連携企画として「リバーサイドコンサート」を開催します。出演はバイオリン奏者、根来由実さんとチェロ奏者、島津由美さんによるデュオ「Yumi×Yumi」。クラシックからポップスまで、二つの旋律が力強く華やかに絡み合います。

入場料無料、事前申込不要でどなたでもご参加いただけます。皆様のご来場をお待ちしております。

日 時	2019年10月5日(土) 14:00開演(受付開始 13:30 終了予定 15:00)
会 場	東京千住キャンパス 電大ギャラリー(1号館1階)
出 演	Yumi×Yumi(バイオリン:根来由実、チェロ:島津由美)
入 場 料	無料(事前申込不要)、定員80名(先着順)
共 催	足立区生涯学習センター、東京電機大学
協 力	音楽活動支援団体 特例認定NPO法人おたまじゃくしクラブ
お問合せ	総務部(企画広報担当) TEL:03-5284-5125



東京電機大学経営同友会 特別講演会 経営同友会

東京電機大学経営同友会では、10月10日に第52回特別講演会を開催します。講師は、富士通株式会社の理事であり、首席エバンジェリストとして幅広く活動している中山五輪男氏。AI、クラウド、IoT、スマートデバイス、ロボットの5分野を得意分野とし全国各地で年間約300回の講演活動を行う中山氏に、AIの最新情報、今後の未来予測、それに伴う産学連携のあるべき姿について動画を交えながらお話をいただきます。工学部 協調ロボティクス研究室の五十嵐洋教授による研究紹介「人口知能のいまと未来」も同時開催。

日 時	2019年10月10日(木) 17:00~19:20
会 場	東京千住キャンパス 丹羽ホール(1号館2階)
講 演	富士通株式会社 理事 首席エバンジェリスト 中山 五輪男氏
演 題	「AIと最新テクノロジーが創り出す驚異の未来社会に備える」
入 場 料	無料(事前申込不要)、定員200名(先着順)
お問合せ	経営同友会 事務局 TEL:03-5284-5145



編集後記

大学の夏休み期間中、各キャンパスでは子供向けの体験教室が数多く行われました。対象は小学生が中心で、地域連携の企画として毎年恒例のイベントになっているものも。どの講座も人気があり、抽選となっていますが、今後も子供たちにもものづくりの楽しさや科学への関心を高めるよいきっかけになればと思います。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail:soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。